

山形県の宝 最上川の桜鱒フォーラム

NPOみなと研究会 理事長 ○守屋 元志 菅原 三太郎

【1. 目的】

平成24年度私どもNPOみなと研究会は、やまがた社会貢献事業として「山形県の宝 最上川の桜鱒」フォーラムと銘打った出前講座を開催することになりました。

遡る事20年前、桜鱒は山形の「県の魚」として山形県の水産への理解と親しみを深め、県内産の魚介類のイメージを高めて水産業を発展させること、また、庄内浜や最上川などの山形県の豊かな自然をアピールするため制定されました。しかしながら、私を始めとした地域の人達は、桜鱒のことを良く理解されていないばかりか、県の魚であることすら知らない方も少なくありません。最上川に生息する桜鱒のことを知らないことは桜鱒自体に対しても失礼ですし、最上川を宝として誇りにしている県民の姿勢としては、恥ずべき姿ではないでしょうか。

この講座が、鮭と桜鱒の違いを理解して頂く程度でも、皆さんの知識を深める場になれば、と考えています。美味しくて貴重な山形県の宝を後世に引き継ぐ為にも、五感で体験する桜鱒フォーラムを楽しんで頂けると幸いです。開催にあたりご協力下さった多くの関係者の方々と、美しい山形・最上川フォーラム もがみがわ水環境発表会にて口頭発表の機会を下さった事務局に深く御礼申し上げます。

【2. 調査(実施)方法】

「山形県の宝 最上川の桜鱒フォーラム」を一般住民から知ってもらうために、以下の事業を実施しました。

1. 「歌謡作業部会」の設立をして、桜鱒の歌を子どもの部、一般の部で募集

作業内容：楽しみながら学習できる教材として「桜鱒」の詩を製作しました。詩の内容は、桜鱒の生態系が学術的に表現され、読むだけで桜鱒のことに対して学習に成り得る文面としました。詩は歌詞として作詞し、次に詞に合わせて作曲をしました。

2. 「紙芝居部会」の設立

作業内容：園児や小さい子ども達からも「桜鱒」の事を知ってもらうために、上記の1. で制作した歌を紙芝居にしました。紙芝居は「口演」がありますが、その口演の部分を楽しく桜鱒の学習するために、上記の1. で制作した歌で口演しました。紙芝居の「語り」は慣れた人でないと出来ませんが、唄で口演できれば面白いです。子ども達が誰でも学習に入りやすく、近づきやすくなります。さらに、聴覚障がい者の人達のために、語りの部分を手話での語りも視野に入れていきます。

3. 「山形県の宝 最上川の桜鱒フォーラム」の開催

- ① 「詞」「紙芝居」の表彰式、唄と紙芝居でお披露目
- ② 桜鱒の学習会 山形県内水面水産試験場 専門研究員 河内正行氏
- ③ 最上川の桜鱒漁法 両羽漁業協同組合 代表理事組合長 阿部興治氏
- ④ 記念講演 「山形県の魚 桜鱒」の制定 加茂水族館 館長 村上龍男氏
- ⑤ 桜鱒の賞味堪能会（桜鱒素焼き、つや姫おにぎり、磯貝汁、地場漬物他）
- ⑥ 泳ぐ桜鱒観賞会（加茂水族館長 案内）

【3. 調査(実施)結果】

①唄と紙芝居のお披露目

期待：誰もがつい唄いたくなる楽しい歌が出来上がる事を期待しました。

効果：歌の詞を覚えるだけで、桜鱒の学習ができる教材(歌)が出来上がり、

子ども達の唄が良く感銘を受けたとの声を、多くの参加者から聞かれた。

期待：紙芝居を観るだけでも、桜鱒の生態系が学習できる紙芝居製作を期待しました。

効果：絵語り、映像での紙芝居が製作されており、楽しみながら桜鱒の学習ができる教材(紙芝居)が出来上がりました。

②桜鱒の学習会 山形県内水面水産試験場 専門研究員 河内正行氏

期待：山形県の桜鱒について歴史、保全の取り組み等の説明を貰える事を期待しました。

効果：実際に山形県山形県内水面水産試験場としての桜鱒の取り組みを発表して頂き、生態系と幻の高級魚の仕組みが理解され、今後の増殖保全展開について課題解決を検証出来ました。

③最上川の桜鱒漁法 両羽漁業協同組合 代表理事組合長 阿部興治氏

期待：今では幻の高級魚となった桜鱒、山形県の魚と制定された当時、桜鱒はどれ位居たのか、どのような漁法で捕ったのかをお聞きしました。

効果：当時は流し網、巻き網漁法で数多く捕れ、煮つけて食すのが美味しかったと口演して頂きました。

④記念講演 「山形県の魚 桜鱒」の制定 加茂水族館 館長 村上龍男氏

期待：どうして桜鱒に制定されたのか、誰が決定したのか、事実に基づいたお話に期待しました。

効果：講演者である村上氏本人が制定委員であった為、クロダイ、ソイ、ヒラメもエントリーされていた事や、増殖保全が非常に大変な魚で河川の整備のあり方と同時進行しなければならない魚である事を口演して頂きました。

⑤桜鱒の賞味堪能会 (桜鱒素焼き、つや姫おにぎり、磯貝汁、地場漬物他)

期待：フォーラムの開催時期において、美味しい桜鱒の調達を期待しました。

効果：賞味堪能会で素焼きの桜鱒を美味しく食され絶賛されました。

⑥泳ぐ桜鱒観賞会 (加茂水族館長 案内)

期待：元気でスマルト化した桜鱒が悠然と泳ぐ姿を観察できる事を期待しました。

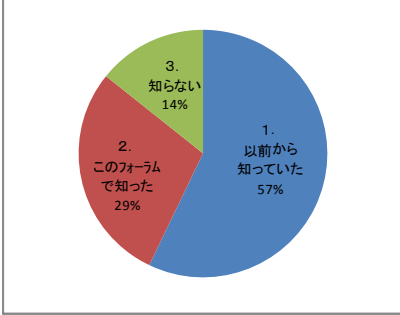
効果：子ども達や参加者が直接自分の目で桜鱒を観察、体験出来ました。

【子どもの部 最優秀賞】
社会福祉法人 西荒瀬協会 西荒瀬保育園
【サクラマス】
一 緑輝く 最上川
水玉もように さようなら
君に会うため 戻ってくるよ
桜の香りを 胸に秘め
二 雪がまいちる 最上川
つめたさ さみしさ 我慢して
スマルトな君 待っているよ
桃色季節を 忘れずに
三 桜満開 最上川
めぐるふたりの 春が来た
ふるさと川に おかえりなさい
ヤマメと思ひ出 増やそうよ
くりかえす春の サクラマス

【一般の部 最優秀賞】
庄司健弘 作詩 天中健晴陽
作曲 平川竜城 編曲 丸山俊弘
【桜鱒】
一 鳥海の水に慣れたる海原に
ヤマメの稚魚は一人旅立つ
必ず帰るこの四年
それまで待っていてほしい
桜鱒の桜鱒の願い事
二 最上川河口はにぎり雪解けか
帰ってきた我が故郷へ
大海原の厳しさよ
耐えて忍んで今ここに
桜鱒の桜鱒の独り言
三 春爛漫桜の季節日和山
これから昇る上流の堰
親子二代の生きざまを
きつとみてくれ夫婦愛
桜鱒の桜鱒の夢芝居

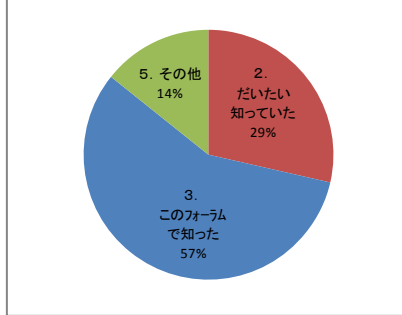
山形県の宝 最上川の桜鱒フォーラムについてのアンケート 集計結果

【1】貴方は桜鱒が山形県の魚に制定されていることをご存じでしたか？



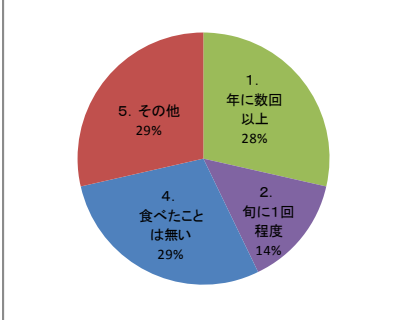
1. 以前から知っていた 57%
2. このフォーラムで知った 29%
3. 知らない 14%
4. その他 0%

【2】貴方は鮭と桜鱒の違いをご存じでしたか？



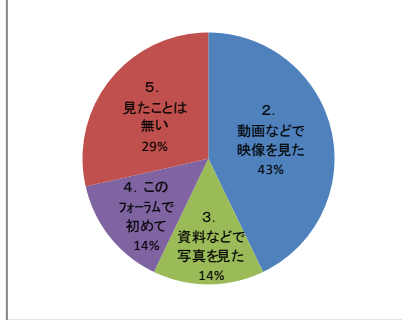
1. 詳しく理解していた 0%
2. だいたい知っていた 29%
3. このフォーラムで知った 57%
4. 知らない 0%
5. その他 14%

【3】貴方は桜鱒をどれぐらいの頻度で食べていますか？



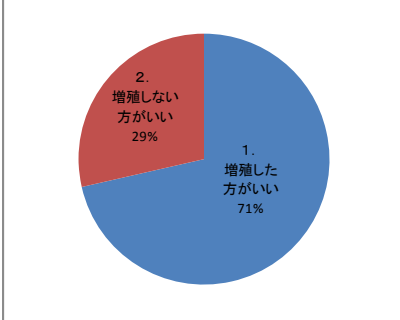
1. 年に数回以上 28%
2. 月に1回程度 14%
3. このフォーラムで初めて 0%
4. 食べたことはない 29%
5. その他 29%

【4】貴方は桜鱒の泳ぐ姿を見た事がありますか？



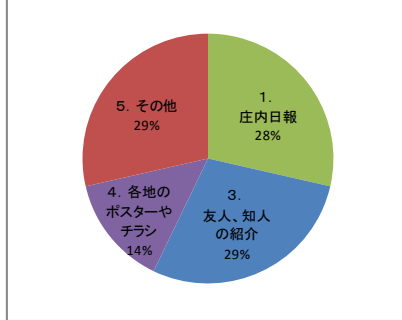
1. 実際に見たことがある 0%
2. テレビや投稿動画などで映像を見たことがある 43%
3. 本や資料などで写真を見たことがある 14%
4. このフォーラムで初めて見た 14%
5. 見たことはない 29%

【5】貴方は現在希少価値の高い桜鱒の、今後の増殖についてどのようにお考えですか？



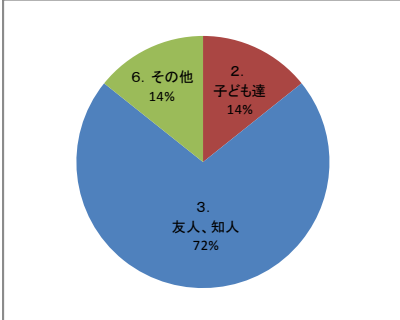
1. 増殖した方がいい 71%
2. 増殖しない方がいい 29%
3. わからない 0%

【6】貴方はこのフォーラムの開催をどこで知りましたか？



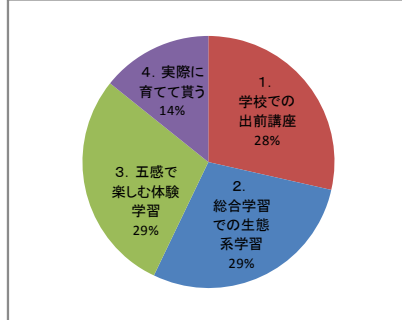
1. 庄内日報 28%
2. コミュニティ新聞 0%
3. 友人、知人の紹介 29%
4. 各地のポスターやチラシ 14%
5. その他 29%

【7】今後、同内容の出前講座を各地で開催予定ですが、貴方はこの講座を誰に知らせたいですか？



1. 漁業関係者 0%
2. 子ども達 14%
3. 友人、知人 72%
4. 親族、身内 0%
5. 知らせない 0%
6. その他 14%

【8】桜鱒を後世に次ぐ環境を残す為、子供達に訴えかけるより良い方法は何かありますか？



1. 学校での出前講座 28%
2. 総合学習での生態系学習 29%
3. 五感で楽しむ体験学習 29%
4. 実際に育てて貰う 14%
5. その他 0%

【9】このフォーラムで一番興味深かった事は何ですか？

- ・漁獲量の回復の為には放流だけで解決できるものではなく、河川の産卵環境の改善が重要という指摘について
- ・食べていたサクラマスが美味しい物に出会えなかったのは、北海道から届くマスだったのかと気付いた。
- ・自然と調和した気難しい魚なんだと理解できた。
- ・人工的な資源回復はできない事が良く分かった。
- ・村上館長の講座の中で「桜鱒を蘇らせるに人の手では無理、川を蘇らせる以外にない」との言葉が印象的だった。

【10】今後NPOみなと研究会に望む事などありましたら、どんな事でもお書き下さい。

- ・自然豊かな庄内、川、海、山を大切に子ども達も運んでいけたら、、、これからも頑張ってください。
- ・継続は力なり。他の場所でも毎年開催されることを望みます。
- ・何か役に立てればと思います。

【4. 考察】

山形県の魚として桜鱒が制定されてから、これまで地域住民や行政が桜鱒についての学習会、意見交換する機会は一度もありませんでした。制定されてから20年、今では幻の魚となっており、鱒捕り漁船も無くなって来ています。山形県の魚として象徴されている桜鱒が幻の存在で良いのでしょうか。

県民が桜鱒の事を知らなくては話にもならない、という事でまずは地域住民を始め県民が桜鱒を理解する機会を計画しなければならないと考えました。難しい事を並べて知ってもらうのではなく、五感で楽しみながら体験してもらう機会を設定し、一度では問題解決とならないので、開催場所を各地域で展開する予定です。

課題

1. 河川整備と併用した保全のあり方を学習していない。
2. 先進地域での成功例を視察研修、学習していない。
3. 保全増殖に失敗して、他県の釣り人に河口で釣らせている。
4. 山形県の魚に制定していながら、幻の魚の象徴としている。
5. 山形県は桜鱒を県の魚として制定しているが目的から外れている。

今後の反省

1. 開かれた桜鱒増殖保全実行委員会を設立する。
2. 様々な分野での桜鱒の出前講座を開催する。
3. 子ども達の総合学習に桜鱒を取り組む事を計画する。
4. 出前講座、意見交換会の開催を早めに計画して周知、呼びかけをする。
5. 美味しい桜鱒を賞味する機会を多くする。

【5. まとめ】

山形県の魚として桜鱒が制定されている事を知らない人、食べたことが無い人、見たことの無い人、様々な認識がアンケート結果で確認できました。生態系の公演からは、桜鱒の性質として人の手を介した保全自体が難しい魚であることを学習しました。しかしながら、幻の魚となり増殖が困難であるからと言って、県の魚の制定を覆すこともできないでしょう。

今正に「山形県の宝 最上川の桜鱒」の保全環境のあり方が問われているのではないのでしょうか。桜鱒は何もしていませんし、悪い事もしていません。私達が桜鱒の環境を壊しているだけなのです。

私達人間は河川の環境を変化することも出来ますが、元通りに修復し改善する力も持っています。絶滅してからでは遅いのです。

NPOみなど研究会 参考作品	一 桜咲く 最上川
	新月の夜 雪解け水と スモルトは 海へ旅立つ 誓いの気持ちは 本鱒だ 大使を抱き ヤマメを信じ ヤマメの匂いを 御守りにして
【桜鱒】	桜街道
	二 雪がふる 最上川
	満月の夜 雪解け水と 娘ヤマメはいつまでも待つ 信じる気持は 川鱒だ 北海の スモルトを恋し スモルトの匂い 思い出にして
	桜吹雪
	三 桜舞う 出羽の海
	大潮の夜 雪解け水に スモルトは 故郷帰り 婚姻色は 本鱒だ 最上川の ヤマメを恋し ヤマメの匂いを 思い出にして
	桜海流